

6 総合評価

「5 計画段階配慮事項に係る調査、予測及び評価の結果」において検討した各環境要素の評価結果を整理した総合評価は、表 6.1 に示すとおりである。

設定した煙突高さの複数案（A案（59m）、B案（80m））について、大気質はいずれの案の寄与濃度もバックグラウンド濃度を変化させる程度ではないため、重大な環境影響はなく、複数案による影響の違いもほとんどないと考えられる。

景観について、いずれの案も重大な環境影響を及ぼさないが、A案（59m）に比べてB案（80m）の方が影響が大きいと考えられる。

表 6.1 総合評価

環境要素	項目	A案 煙突 59m	B案 煙突 80m	
大気質	最大着地濃度地点の 将来濃度（年平均値） （寄与濃度＋BG濃度）	二酸化硫黄 （ppm）	0.006	0.006
		二酸化窒素 （ppm）	0.016	0.016
		浮遊粒子状物質 （mg/m ³ ）	0.020	0.020
		ダイオキシン類 （pg-TEQ/m ³ ）	0.031	0.031
景観	新施設煙突を望む仰角 （度）	知多運動公園	7.1	9.6
		寺本跨線橋	2.6	3.7

注：1. 二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質及びダイオキシン類の予測結果は、全ての案で環境基準値を下回っている。

2. 煙突を望む仰角は、値が小さいほど見た目の大きさが小さいことを示す。